

治安維持法犠牲者国家賠償要求 第42回新潟県本部



来年は治安維持法制定百年、新しい日本への転換点に
「危機と希望が同居」する情勢——国賠同盟の頑張り時

第42回県本部大会で今後一年間の方針を確認

6月23日、新潟市内で第42回県本部大会が開催
されました。

小日向昭一県本部会長は、「一方で『戦争国家』への
暴走という危険、他方で『断崖絶壁』に立つ自民党政
権に終止符をうつ希望が同居する情勢のもと、危機と
たたかう点でも、希望を切り拓く点でも『国賠同盟の
頑張りどころ』であることを強調しました。

議長に渋谷明治、松村隆両代議員が任命され、野崎洪
県本部事務局長による活動方針提案、笠原順子財政部
長の財政報告にもとづき積極的な討論が行われました。

吉田万三中央本部長

樋渡士百夫党員委員長が激励

大会には、国賠同盟中央本 部の吉田万三会長がかけつけ、



「不屈」No.601 附録
新潟県版 No.336

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
新潟県本部

〒950-0056 新潟市
東区古川町 8-9
渋谷明治事務所気付

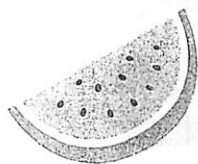
TEL・FAX
025-275-6881

●今月号は

国賠同盟第42回
県本部大会の特集号です。

「戦前、治安維持法はほとんどの国民を犠牲にした」「戦後も特高出身者が国会議員や大臣になり、治安維持法体制を維持・復活させた」と指摘。「治安維持法制定100年を来年に控え、この体制に決着をつけよう」と呼びかけました。

来賓の樋渡士百夫党員委員長は、「共闘と必要な批判を同時追求することで市民と野党の共闘を再構築し、行き詰まった自公政権を打破しよう」と訴えました。



県同盟の前進を反映し、充実した討論が

●田中徳光代議員

上越支部長の田中徳光代議員は、2年前に支部再建総会を開いて以降、「原菊枝の生涯」や「宮本百合子論」講演会、「軍事によらない平和構築」講演会の開催や、月6回のスタンディングなど積極的な活動で、2年前の10倍となる88人の会員を擁する支部に発展したことを語りました。

その上で、今後「経済秘密保護法の危険」を告発する講演会や、「山本宣治論」講演会などを開催し、来年5月までに「100人の支部」を築く決意を述べました。

●柄沢武美代議員

阿賀野支部事務局長の柄沢武美代議員は、治安維持法犠牲者への謝罪と補償を求める請願を、市議会に今年も行ったことを報告。議会討論で保

時適法的に制定された」と強弁し請願に反対。共産党議員は「治安維持法はポツダム宣言で、悪法として否定されたものだ」と主張。無党派議員からは「治安維持法は国の体制に都合悪いものはすべて弾圧した悪法だった」と請願に賛成する論戦が展開されたと述べ、「我々は採択されるまで請願を続ける」と決意を表明しました。

●風間ルミ子代議員

県本部副会長で豊栄支部長の風間ルミ子代議員は、昨年の県大会の「強大な同盟の建設」との方針を受け、木崎争議記念日の11月23日までに26名の会員に前進させて再結成総会を開催したことを報告。この5月には、映画「伊藤千代子の生涯」を47名の参加で成功させ、その後「木崎争議を語る集い」を行った

が、ここには「千代子」映画観賞者らが参加し、その中から2名の入会者を迎え、現在37名の支部にまで発展していると語りました。

●白鳥尚夫代議員

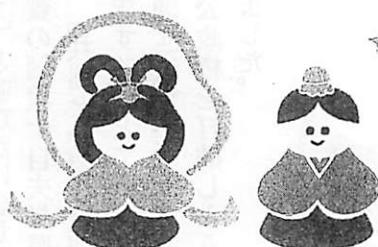
上越支部事務局長の白鳥尚夫代議員は、家庭の事情で県大会に参加できなかった福富由香上越支部理事の文書発言を代読。福富さんは文書発言で、「支部が独自に発行している『不屈』にいつも励まされている」ことを紹介するとともに、「昨年長野市で開かれた北信越ブロック交流会に参加して、講演にあった『山宣』の生き方に感動。夜もまるで修学旅行のように盛り上がった」「今年は上越地域でブロック交流会が予定されているので、県内の皆さんぜひご参加を」と呼びかけました。

●伊藤恭子代議員

県本部副会長で新潟支部副支部長の伊藤恭子代議員は、

「戦前治安維持法によって県内でも数多くの犠牲者が生まれた」「拷問や獄中の虐待で、女性の囚人の中には拘禁性の精神疾患を患う人も少なくなかったが、『女子党员獄中記』を著わした原菊枝は、こうした虐待を冷静に分析し、たまたか決意を崩さなかった」と語りました。

この4月20日、菊枝の命日に「碑前祭」を成功させたことを紹介し、800冊印刷した『獄中記』の一層の普及をめざす決意を表明しました。



新しい理事会を選出 藤田孝一副会長が閉会あいさつ

大会では、提案された活動方針と財政報告を全員一致で承認。この方針実践の先頭に立つ新しい理事会を選出しました。また、長年県同盟の役員として奮闘された伊藤恭子氏と遠山武氏の2名から県本部顧問に就任してもらうことも承認されました(別項)。

最後に、新たに県本部副会

長に選出された藤田孝一氏が閉会あいさつ。藤田氏は、退任される役員への感謝と労いの言葉を述べた後、自らが全国大会に代議員として参加した感想を述べ、「デジタル化時代の治安維持法体制を打ち破るために、国賠同盟を2倍3倍の組織に発展させよう」と訴えました。

『特別期間』の奮闘で

「450名の県同盟」に到達!

新潟県同盟は、中央が呼びかけた『特別期間』(4~6月)で大いに奮闘し、6月末現在で、県同盟史上最高の「450名」の組織に前進しました。2年前の全国大会時からの伸び率では全国最高となりました。皆さんのご奮闘に敬意を表します。

今月の俳句

町田 綾子(上越)

どの皿に盛れば映ゆるや山女鮎 は

心頭の滅却炮烙灸かな はうろくきう

さざ波の光をまとひ未草 ひつじぐさ

今月の絵手紙

笠原順子 (新津)



● 6月の会員と署名の到達状況

2024年 6月末の到達(2024.07.01現在)								
	会員 数	6月 の会 員増	6月 の会 員減	誌友 人数	国賠署名数			
					今年5月16日まで の署名数=今年の 国会請願数		今年5月17日 以後の署名累 計	
					個人	団体	個人	団体
新潟	144	7	2	2	820			
長岡	27				165			
上越	88	5		1	442			
阿賀野	28				161			
新発田	17				25			
五泉	6							
黒埼	5			1				
豊栄	38	3			160			
新津	29	1		1	58			
三条	7							
小千谷	10				30			
柏崎	5							
魚沼	32				106			
佐渡	4							
点在	10							
県本部					381			
県合計	450	16	2	5	2348	0	0	

6月の新入会員	
支部	お名前
新潟	古俣今日子さん
新潟	平山 宏子さん
新潟	樋口 信雄さん
新潟	藤田 芳子さん
新潟	松原 ミイさん
新潟	松村 秀子さん
新潟	和久井 翠さん
上越	荒木 一貞さん
上越	池田 達夫さん
上越	金子 勇さん
上越	金平 明義さん
上越	村田 秀夫さん
新津	片桐なおみさん
豊栄	伊藤れいこさん
豊栄	岡村 容子さん
豊栄	早見 房子さん

おくやみ	
新潟	高橋 シズさん
新潟	藤井 和夫さん

※心よりお悔やみ申し上げます。